

令和5年 宮崎県の交通事故

《交通事故発生マップ》



《宮崎県警察交通部X(旧ツイッター)》



宮崎県警察本部交通部

用語等の解説

1 交通事故統計の対象

道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路上において、車両、路面電車及び列車の交通によって起こされた人の死亡又は負傷を伴う事故とする。

なお、物損事故は交通事故統計の対象外であるが、「宮崎県の交通事故」（本冊子）は、宮崎県内の発生件数（概数）を表記している。

2 「子ども」とは

幼児、小学生、中学生の総称をいう。

3 「一般少年」とは

中学校を卒業した15歳以上20歳未満で、高校生以外の者をいう。

4 「若者」とは

中学校を卒業した15歳以上25歳未満の者をいう。

若者は、高校生、一般少年、20歳以上25歳未満の者に分類される。

5 「若者運転者」とは

中学校を卒業した15歳以上25歳未満で、二輪・四輪を運転していた者をいう。

6 「高齢者」とは

65歳以上の者をいう。

7 「昼」とは、「夜」とは

「昼」とは、日の出から日没までをいい、「夜」とは、日没から日の出までをいう。

8 「二輪車」とは

自動二輪車及び原動機付自転車をいう。

目 次

1	令和5年中の交通事故の概要	1
2	過去10年間の交通事故の推移	3
3	交通事故の発生状況	4
4	交通死亡事故の発生状況	13
5	飲酒（酒酔い・酒気帯び）運転の交通事故	18
6	子ども（中学生以下）の交通事故	20
7	若者の交通事故	22
8	高齢者（65歳以上）の交通事故	25
9	歩行者の交通事故	30
10	自転車の交通事故	32
11	二輪車の交通事故	33
12	安全運転管理者事業所の交通事故	34
13	運転免許保有者数・免許証自主返納者数の推移	35
14	令和6年度の主な交通安全活動計画	36
15	宮崎県交通事故相談所の業務案内	37

1 令和5年中の交通事故の概要

(1) 全国

令和5年中の交通事故は、発生件数、死者数、負傷者数のいずれも前年より増加した。

この内、死者数は2,678人で、前年比68人、2.6%増加し、平成27年以来8年ぶりに前年を上回った。

また、こどもが犠牲となる痛ましい交通事故や、飲酒運転等の悪質・危険な運転による交通事故も後を絶たない状況で、より一層の交通安全への取組が必要な交通情勢にある。

(2) 宮崎県

ア 概要

令和5年中の交通事故は、発生件数が3,488件、死者数が30人、負傷者数が3,908人と、発生件数、死者数、負傷者数のいずれも前年より減少し、「第11次宮崎県交通安全計画」に掲げた「令和7年度までに年間の24時間死者数を31人以下、交通事故(人身)発生件数を5,200件以下にする」との目標を2年ぶりに達成した。

また、交通事故死者は、令和3年と同数で、全国統一の基準で統計を開始した昭和23年以降で2番目に少なかった。

しかしながら、全死者に占める65歳以上の高齢者の割合は60.0%と依然として高く、また、発生件数に占める高齢運転者による交通事故の割合も31.2%と過去最高になるなど、高齢者対策が課題となっている。

イ 特徴

- 時間帯別では、7時から9時までの間の発生が最も多く、次いで16時から18時までの間の発生が多かった。
 - ・ 7時から9時までの間 624件（前年比 -8件 全事故の17.9%）
 - ・ 16時から18時までの間 551件（前年比 -109件 全事故の15.8%）

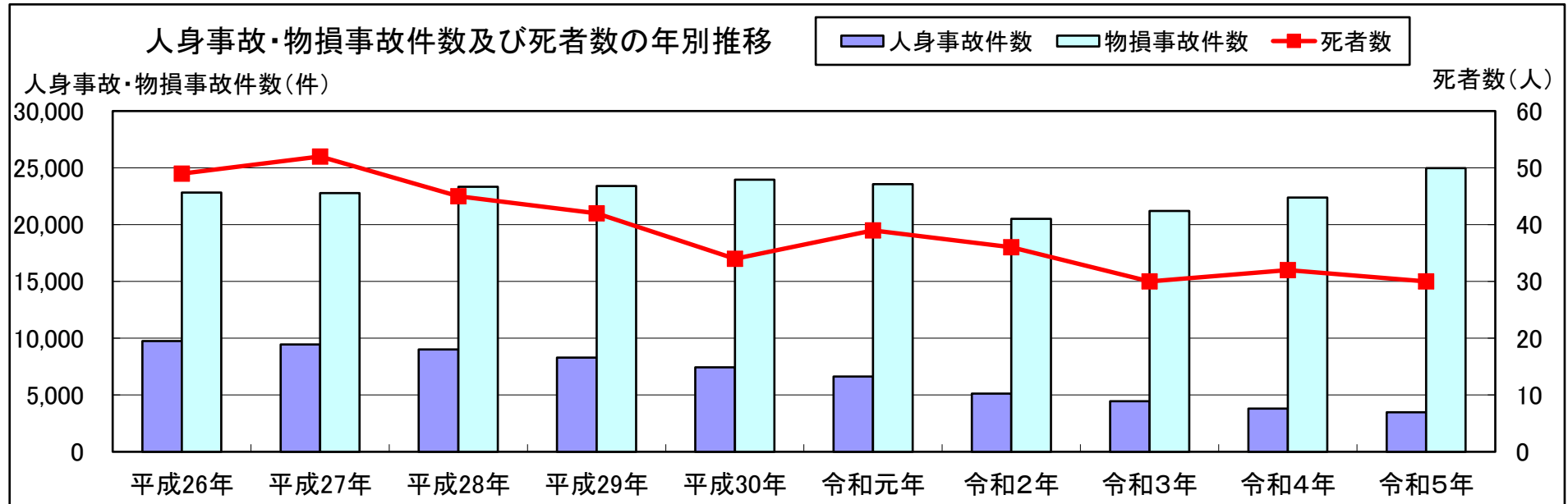
- 道路形状別では、交差点（交差点付近を含む）での発生が最も多く、次いで直線道路での発生が多かった。
 - ・ 交差点（交差点付近を含む） 1,681件（前年比 -165件 全事故の48.2%）
 - ・ 直線道路 1,420件（前年比 -93件 全事故の40.7%）

- 類型別では、追突事故と出合頭事故が全事故の64.6%を占めた。
 - ・ 追突事故 1,412件（前年比 -90件 全事故の40.5%）
 - ・ 出合頭事故 841件（前年比 -126件 全事故の24.1%）

- 第1当事者の年代別では、高齢者（65歳以上）の事故が最も多く、次いで20歳代の事故が多かった。
 - ・ 高齢者 1,093件（前年比 -37件 全事故の31.3%）
 - ・ 20歳代 598件（前年比 -90件 全事故の17.1%）

- 原因別では、前方不注意、動静不注視、安全不確認に起因する事故が、全事故の71.2%を占めた。
 - ・ 前方不注意 1,019件（前年比 -128件 全事故の29.2%）
 - ・ 動静不注視 563件（前年比 -23件 全事故の16.1%）
 - ・ 安全不確認 901件（前年比 -210件 全事故の25.8%）

2 過去10年間の交通事故の推移



年 別		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
人身事故	発 生(件)	9,759	9,455	9,015	8,293	7,446	6,621	5,126	4,461	3,798	3,488
	死 者(人)	49	52	45	42	34	39	36	30	32	30
	負傷者(人)	11,534	10,958	10,280	9,251	8,224	7,432	5,741	5,059	4,245	3,908
物損事故(件)		22,833	22,772	23,336	23,399	23,949	23,576	20,511	21,200	22,393	24,976
総事故件数		32,592	32,227	32,351	31,692	31,395	30,197	25,637	25,661	26,191	28,464

3 交通事故の発生状況

(1) 前年との比較

区 分		令和5年	令和4年	増減数	増減率(%)
全 国	発 生(件)	307,930	300,839	7,091	2.4
	死 者(人)	2,678	2,610	68	2.6
	負傷者(人)	365,595	356,601	8,994	2.5
宮 崎 県	発 生(件)	3,488	3,798	-310	-8.2
	死 者(人)	30	32	-2	-6.3
	負傷者(人)	3,908	4,245	-337	-7.9
	物損事故(件)	24,976	22,393	2,583	11.5

(2) 各署別発生状況

区 分	発 生(件)			死 者(人)			負傷者(人)		
	令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年	増減数
宮崎北	810	862	-52	2	3	-1	891	940	-49
宮崎南	675	699	-24	3	4	-1	737	756	-19
日 南	74	91	-17		1	-1	82	101	-19
串 間	26	26			1	-1	33	27	6
都 城	640	781	-141	5	7	-2	720	878	-158
小 林	149	152	-3	1	5	-4	190	166	24
えびの	23	23		1		1	24	28	-4
高 岡	113	138	-25	2		2	131	168	-37
西 都	69	110	-41	2	3	-1	77	127	-50
高 鍋	202	241	-39	6	2	4	224	283	-59
日 向	283	276	7	6	2	4	313	310	3
延 岡	349	342	7	2	1	1	393	397	-4
高千穂	45	43	2		2	-2	55	50	5
高速隊	30	14	16		1	-1	38	14	24
合 計	3,488	3,798	-310	30	32	-2	3,908	4,245	-337

(3) 月別発生状況

区 分	発 生(件)	死 者(人)	負傷者(人)
1 月	193	2	227
2 月	282	4	318
3 月	325	2	353
4 月	267	4	296
5 月	302	1	341
6 月	313	1	347
7 月	275	4	305
8 月	269	3	304
9 月	293	1	326
10 月	289	3	325
11 月	289	3	320
12 月	391	2	446
合 計	3,488	30	3,908

(4) 曜日別発生状況

区 分	発 生(件)	死 者(人)	負傷者(人)
日 曜	351	3	415
月 曜	551	5	613
火 曜	536	3	579
水 曜	518	10	561
木 曜	527	4	591
金 曜	571	2	640
土 曜	434	3	509
合 計	3,488	30	3,908

(5) 天候別発生状況

区 分	晴	曇	雨	霧・雪	合 計
発 生(件)	2,398	618	470	2	3,488
死 者(人)	22	5	3		30
負傷者(人)	2,693	680	533	2	3,908

(6) 時間帯別発生状況

区分	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
0～1	10	0	19
1～2	31	4	31
2～3	12	3	11
3～4	8	0	10
4～5	12	0	12
5～6	25	2	28
6～7	76	0	86
7～8	303	1	325
8～9	321	1	350
9～10	240	4	266
10～11	248	3	278
11～12	259	3	288
12～13	224	1	259
13～14	205	0	242
14～15	191	2	219
15～16	217	1	239
16～17	249	2	279
17～18	302	0	333
18～19	219	1	246
19～20	151	1	171
20～21	68	0	78
21～22	55	1	65
22～23	34	0	38
23～24	28	0	35
合計	3,488	30	3,908

(7) 昼夜別発生状況

区分	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
昼	2,813	18	3,132
前年比	-264	3	-324
構成率	80.6%	60.0%	80.1%
夜	675	12	776
前年比	-46	-5	-13
構成率	19.4%	40.0%	19.9%
合計	3,488	30	3,908
前年比	-310	-2	-337

(8) 路線別発生状況

区 分		発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
高速道路・自専道		32	(-1)	40
国 道	10 号	495	5 (2)	578
	218 号	38	(-1)	50
	219 号	41	1 (1)	48
	220 号	104	()	126
	221 号	70	(-1)	93
	222 号	31	1 (1)	34
	268 号	42	(-3)	58
	269 号	155	2 (2)	184
	その他	46	4 (3)	56
	小 計	1,022	13 (4)	1,227
県 道		800	7 (-1)	880
市 町 村 道		1,403	9 (-2)	1,510
そ の 他		231	1 (-2)	251
合 計		3,488	30 (-2)	3,908

※ () は前年比

(9) 道路形状別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
交 差 点	1,243	7	1,374
交 差 点 付 近	438		493
カ ー ブ	111	8	120
直 線	1,420	11	1,614
橋	34	1	42
ト ン ネ ル	6	1	9
踏 切	3	1	2
一般交通の場所	233	1	254
合 計	3,488	30	3,908

(10) 事故類型別発生状況

区 分	人対車両		車 両 相 互					単独	列車	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出合頭	右左折時	その他			
発 生 (件)	154	124	110	1,412	841	321	413	111	2	3,488
死 者 (人)	4	8	6		3		2	6	1	30
負 傷 者 (人)	152	119	135	1,637	948	353	445	118	1	3,908

(11) 原因別発生状況(件)

車 両 側 の 原 因					人 側 の 原 因		
安全不確認	901	最 高 速 度	1	右 折 違 反	3	飛 出 し	
前方不注意	1,019	徐 行 場 所 反 違	1	左 折 違 反	3	走 行 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	
動静不注視	563	交 差 点 行 安 全 進 行	166	過 労 等	2	駐 停 車 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	
一時不停止	145	通 行 区 分	20	ド ア 開 放 不 適	0	横 断 歩 道 外 横 断	
信号無視	119	予 測 不 適	1	酒 酔 い 運 転	1	酩 酊 ・ 徘 徊	
ハンドル等 操作不適	291	優 先 通 行 等 妨 害 等	49	追 越 し 違 反	6	信 号 無 視	
歩行者妨害等	77	横 断 自 転 車 等 妨 害 等	22	横 断 等 禁 止 違 反	6	幼 児 の ひ と り 歩 き	
車 間 距 離 不 保 持	3	通 行 妨 害	3	そ の 他 の 違 反	42	そ の 他 ・ 調 査 不 能	
小 計 3,444 件					小 計 0 件		
合 計 3,444 件(不明等の					44 件を除く)		

(12) 第一当事者の年代別発生状況

年 代 別		発生(件)
こ ども		8
若 者	高 校 生	18
	一 般 少 年	137
	20 ~ 24 歳	361
	小 計	516
25 ~ 29 歳		237
30 歳 代		417
40 歳 代		487
50 歳 代		485
60 ~ 64 歳		228
65 歳 以 上		1,093
不 明		17
合 計		3,488

※ 一般少年とは、中学校を卒業した15歳~20歳未満で、高校生以外の者をいう。

※ 不明とは、ひき逃げ等のため当事者が判明しなかったもの。

(13) 市町村別人口1万人当たり第1当事者数

番号	市町村名	当事者数 (人)	人口 (人)	人口 1万人当たり (人)
1	西米良村	6	914	65.65
2	綾町	26	6,675	38.95
3	門川町	64	16,763	38.18
4	川南町	55	14,593	37.69
5	日向市	204	57,543	35.45
6	宮崎市	1,384	396,955	34.87
7	日之影町	11	3,246	33.89
8	国富町	59	17,695	33.34
9	小林市	136	41,875	32.48
10	都農町	31	9,574	32.38
11	延岡市	361	113,061	31.93
12	新富町	51	16,086	31.70
13	高鍋町	60	19,216	31.22
14	都城市	492	158,466	31.05

番号	市町村名	当事者数 (人)	人口 (人)	人口 1万人当たり (人)
15	三股町	72	25,426	28.32
16	木城町	13	4,624	28.11
17	西都市	76	27,405	27.73
18	高原町	20	8,082	24.75
19	日南市	93	47,781	19.46
20	えびの市	30	16,356	18.34
21	高千穂町	18	10,782	16.69
22	串間市	24	15,552	15.43
23	椎葉村	3	2,290	13.10
24	五ヶ瀬町	4	3,128	12.79
25	美郷町	5	4,341	11.52
26	諸塚村	1	1,352	7.40
県外等		189		
合計		3,488	1,039,781	

※ 人口は 令和6年 1月1日現在の推計人口

4 交通死亡事故の発生状況

(1) 発生状況

発生 30件 死者 30人 【前年比 発生 -2件 死者 -2人】

(2) 特徴等

ア 年代別死者数は、高齢者が最も多い。

- ・ 高齢者 18人（全死者数の60.0% 前年比 ±0人）
- ・ 50歳代 5人（全死者数の16.7% 前年比 +2人）

イ 状態別死者数は、歩行者、四輪運転者が多い。

- ・ 歩行者 12人（全死者数の40.0% 前年比 -2人）
- ・ 四輪運転者 12人（全死者数の40.0% 前年比 +2人）

ウ 昼間及び夜間の死亡事故は、昼間の死亡事故が増加し、夜間の死亡事故が減少した。

- ・ 昼間 発生18件 死者18人（全死亡事故件数の60.0% 前年比 +3件 +3人）
- ・ 夜間 発生12件 死者12人（全死亡事故件数の40.0% 前年比 -5件 -5人）

エ 道路形状別では、直線道路が最も多い。

- ・ 直線道路 発生11件 死者11人（全死亡事故件数の36.7% 前年比 +3人）

オ 原因別では、前方不注意、動静不注視、安全不確認によるものが多い。

- ・ 発生12件 死者12人（全死亡事故件数の40.0% 前年比 -1件 -1人）

(3) 原因別発生状況

原因別		区分		令和5年		令和4年		増減数	
		発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)		
車 両 側 の 違 反	酒 酔 い 運 転								
	最 高 速 度			1	1	-1	-1		
	過 労 ・ 居 眠 り 運 転								
	信 号 無 視	2	2	1	1	1	1		
	通 行 区 分	4	4	1	1	3	3		
	一 時 不 停 止	1	1			1	1		
	横断歩行者妨害等	1	1	2	2	-1	-1		
	交差点安全進行			2	2	-2	-2		
	前方不注意・動静不注視	8	8	10	10	-2	-2		
	安 全 不 確 認	4	4	3	3	1	1		
	ハンドル等操作不適								
	安 全 速 度								
	そ の 他 違 反	2	2	3	3	-1	-1		
	調 査 不 能	8	8	9	9	-1	-1		
	調 査 中								
小 計	30	30	32	32	-2	-2			
人 側 の 違 反									
合 計		30	30	32	32	-2	-2		

(4) 状態別死者数(人)

区 分		令和5年	令和4年	増減数
四 輪	運 転 中	12	10	2
	同 乗 中	1	1	
自動二輪車		3	3	
原付自転車			2	-2
歩 行 者		12	14	-2
自 転 車 等		2	2	
合 計		30	32	-2

(5) 年代別死者数(人)

区 分		令和5年	令和4年	増減数
幼	児	1		1
小	学 生		1	-1
中	学 生			
若 者	高 校 生			
	一 般 少 年		1	-1
	20 ~ 24 歳	2	1	1
	小 計	2	2	
25 ~ 29 歳				
30 歳 代		2		2
40 歳 代		2	6	-4
50 歳 代		5	3	2
60 ~ 64 歳			2	-2
65 歳 以 上		18	18	
不 明				
合 計		30	32	-2

※高齢死者の内75歳以上 14人 77.8%

(6) 路線別発生状況

区 分		令和5年		令和4年		増減数	
		発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)
高速道路・自専道				1	1	-1	-1
国 道	10号	5	5	3	3	2	2
	218号			1	1	-1	-1
	219号	1	1			1	1
	220号						
	221号			1	1	-1	-1
	222号	1	1			1	1
	223号			1	1	-1	-1
	268号			3	3	-3	-3
	269号	2	2			2	2
	その他	4	4			4	4
	小計	13	13	9	9	4	4
県道	7	7	8	8	-1	-1	
市町村道	9	9	11	11	-2	-2	
その他	1	1	3	3	-2	-2	
合計	30	30	32	32	-2	-2	

(7) 道路形状別発生状況

区 分	令和5年		令和4年		増減数	
	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)
交 差 点	7	7	8	8	-1	-1
交差点付近			4	4	-4	-4
カ ー ブ	8	8	9	9	-1	-1
直 線	11	11	8	8	3	3
踏 切	1	1			1	1
その他	3	3	3	3		
合 計	30	30	32	32	-2	-2

5 飲酒(酒酔い・酒気帯び)運転の交通事故

(1) 発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
令和5年	28		33
令和4年	36	4	35
増減数	-8	-4	-2
増減率(%)	-22.2	-100.0	-5.7

(2) 各署別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
宮崎北	7		8
宮崎南	4		4
日 南	2		2
串 間			
都 城	4		4
小 林	1		1
えびの			
高 岡			
西 都			
高 鍋	1		1
日 向	4		4
延 岡	5		9
高千穂			
高 速 隊			
合 計	28		33

(3) 時間別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ~ 2	2		2
2 ~ 4	1		1
4 ~ 6	3		3
6 ~ 8	9		11
8 ~ 10	2		3
10 ~ 12	1		1
12 ~ 14	2		2
14 ~ 16			
16 ~ 18			
18 ~ 20	3		3
20 ~ 22	3		5
22 ~ 24	2		2
合 計	28		33

(4) 車種別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
乗 用 車	23		26
貨 物 車	3		5
特 殊 車			
二 輪 車	1		1
軽 車 両	1		1
合 計	28		33

6 こども(中学生以下)の交通事故

(1) 発生状況

区 分	幼 児			小 学 生			中 学 生			合 計		
	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
令和5年	6	1	20	54		70	50		61	110	1	151
令和4年	8		26	54	1	71	49		60	111	1	157
増減数	-2	1	-6		-1	-1	1		1	-1		-6

※ 幼児、小学生、中学生の交通事故件数は、幼児、小学生、中学生が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 状態別死傷者数(人)

区 分	歩 行 中	自転車乗用中	自転車同乗中	車同乗中	そ の 他	合 計
幼 児	8 (1)			13		21
小 学 生	28	26		15	1	70
中 学 生	3	48		10		61
合 計	39 (1)	74		38	1	152

※ () は死者数で内数

(3) 時間帯別発生状況

区分	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
0～2			1
2～4			1
4～6			
6～8	17		23
8～10	9		12
10～12	7	1	15
12～14	8		15
14～16	24		28
16～18	40		44
18～20	5		11
20～22			1
22～24			
合計	110	1	151

(4) 原因別発生状況

区分		発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
二・四 輪車	一時不停止			
	ハンドル等操作不適			
	その他の違反			
自 転 車	安全不確認	22		24
	動静不注視	14		14
	一時不停止	10		10
	交差点安全進行	6		5
	前方不注意	6		5
	徐行場所違反			
	通行区分	1		1
	ハンドル等操作不適			
	その他の違反	2		2
	違反なし	31	1	72
歩 行 者	飛出し	10		10
	幼児のひとり歩き	3		3
	走行・駐停車車両の 直前・直後横断	1		1
	横断不適	1		1
	信号無視	1		1
	その他の違反	2		2
違反なし	31	1	72	
合計	110	1	151	

7 若者の交通事故

(1) 若者運転者の交通事故

ア 発生状況

区分	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
令和5年	504	3	591
令和4年	601	2	688
増減数	-97	1	-97
増減率(%)	-16.1	50.0	-14.1

※ 若者運転者は、中学校を卒業した15歳以上25歳未満で、二輪・四輪の運転していた者をいう。

※ 第1当事者が若者運転者の交通事故を集計した。

イ 各署別発生状況

区分	発生 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
宮崎北	124		137
宮崎南	122	1	140
日南	8		9
串間	4		7
都城	90		108
小林	16		25
えびの	1		1
高岡	16	1	17
西都	11		14
高鍋	26	1	31
日向	32		37
延岡	43		52
高千穂	4		4
高速隊	7		9
合計	504	3	591

ウ 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0～2	12	1	20
2～4	5	2	4
4～6	7		10
6～8	66		68
8～10	70		80
10～12	36		40
12～14	43		51
14～16	44		57
16～18	86		99
18～20	73		86
20～22	41		51
22～24	21		25
合 計	504	3	591

エ 原因(違反)別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
前 方 不 注 意	184		226
動 静 不 注 視	102		118
安 全 不 確 認	87	1	90
ハンドル等操作不適	50		60
一 時 不 停 止	15		16
信 号 無 視	15		16
交 差 点 安 全 進 行	20		24
安 全 速 度	4		5
通 行 区 分	4	2	5
歩 行 者 妨 害 等	6		7
優 先 通 行 妨 害 等	6		6
左 折 違 反			
右 折 違 反			
横断自転車妨害等	1		1
過 労 ・ 居 眠 り	1		1
そ の 他 の 違 反	6		11
調 査 不 能	3		5
合 計	504	3	591

(2) 若者死者の各署別・状態別発生状況(人)

区 分	四 輪 運 転	四 輪 同 乗	二 輪 運 転	二 輪 同 乗	自 転 車 乗 用	歩 行 中	合 計
宮崎北							
宮崎南				1			1
日 南							
串 間							
都 城	(1)						(1)
小 林							
えびの							
高 岡	1						1
西 都							
高 鍋			(1)				(1)
日 向							
延 岡							
高千穂							
高速隊							
合 計	1 (1)		(1)	1			2 (2)

※ 若者の死者数である。

※ () は前年の死者数

8 高齢者(65歳以上)の交通事故

(1) 過去5年間の交通事故等の推移

区 分		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
高齢者人口(人)		342,690	345,558	351,486	351,843	351,082
高齢免許保有者数(人)		218,622	222,833	227,190	230,259	234,700
高齢者の事故	発生(件)	3,098	2,403	2,171	1,871	1,757
	死者(人)	29	30	18	18	18
	負傷者(人)	1,528	1,193	1,041	873	780
高齢運転者の事故	発生(件)	1,875	1,438	1,316	1,124	1,089
	死者(人)	19	17	7	11	14
	負傷者(人)	2,076	1,599	1,493	1,245	1,207

※ 高齢者の事故の集計方法

発生(件)：高齢者(65歳以上)による第1当事故及び第2当事故の合計件数

死者・負傷者(人)：高齢者(65歳以上)の死者数及び負傷者数

※ 高齢運転者の事故の集計方法

発生(件)：高齢運転者(65歳以上、二輪・四輪)による第1当事故

死者・負傷者(人)：高齢運転者(65歳以上、二輪・四輪)による第1当事故の死者数及び負傷者数

※ 高齢者人口は、各年10月1日現在の県統計

(2) 高齢者の交通事故

ア 署別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
宮 崎 北	354	1	132
宮 崎 南	296	1	134
日 南	62		27
串 間	19		9
都 城	283	2	119
小 林	102	1	57
え び の	17	1	8
高 岡	65		32
西 都	50		29
高 鍋	113	6	47
日 向	163	5	82
延 岡	199	1	78
高 千 穂	30		20
高 速 隊	4		6
合 計	1,757	18	780

イ 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ~ 2	16	3	6
2 ~ 4	11	1	2
4 ~ 6	13		6
6 ~ 8	126		58
8 ~ 10	287	5	146
10 ~ 12	359	3	166
12 ~ 14	280	1	126
14 ~ 16	259	1	108
16 ~ 18	250	2	91
18 ~ 20	107	2	45
20 ~ 22	33		18
22 ~ 24	16		8
合 計	1,757	18	780

ウ 死傷者の状態別発生状況(人)

区 分	四輪運転	二輪運転・同乗	自転車運転・同乗	四輪同乗	歩行中	その他	合 計
死 者(人)	8		1	1	8		18
負傷者(人)	475	50	77	66	112		780

エ 自宅から事故現場までの距離(歩行者・自転車利用者)

区 分	50m以下	100m以下	500m以下	1km以下	2km以下	2kmを超過	不 明	合 計
死 者(人)	1	1	2	1	3	1		9
負傷者(人)	17	12	37	43	25	49	4	187

オ 安全教育受講状況

区 分	受講後1年以内	受講後1年以上	受講なし(不明)	合 計
死 者(人)			7	7
負傷者(人)	3	5	126	134

※ 運転免許を保有していない歩行者・自転車利用者について集計

カ 75歳以上の高齢者事故発生状況

区 分	75歳以上の高齢者の事故			75歳以上の高齢運転者の事故			75歳以上の歩行者の事故		
	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
令和5年	746	14	331	477	10	520	74	5	71
令和4年	754	11	342	475	4	525	68	6	63
増 減 数	-8	3	-11	2	6	-5	6	-1	8

※ 75歳以上の高齢者の事故の集計方法

発生(件)：高齢者(75歳以上)による第1当事故及び第2当事故の合計件数

死者・負傷者(人)：高齢者(75歳以上)の死者数及び負傷者数

※ 75歳以上の高齢運転者の事故の集計方法

発生(件)：高齢運転者(75歳以上、二輪・四輪)による第1当事故

死者・負傷者(人)：高齢運転者(75歳以上、二輪・四輪)による第1当事故の死者数及び負傷者数

※ 75歳以上の歩行者の事故の発生件数 75歳以上の歩行者による第1当事故及び第2当事故の合計件数

(3) 高齢運転者の交通事故

ア 署別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
宮 崎 北	233	1	251
宮 崎 南	176	1	195
日 南	40		45
串 間	12		15
都 城	181	2	198
小 林	54	1	59
え び の	10	1	11
高 岡	39		47
西 都	32	1	36
高 鍋	70	3	78
日 向	94	4	107
延 岡	129		143
高 千 穂	18		21
高 速 隊	1		1
合 計	1,089	14	1,207

イ 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ~ 2	8		9
2 ~ 4	8		9
4 ~ 6	8		8
6 ~ 8	71		73
8 ~ 10	162	5	181
10 ~ 12	211	3	229
12 ~ 14	185	1	218
14 ~ 16	172	2	188
16 ~ 18	170	2	187
18 ~ 20	65	1	72
20 ~ 22	20		23
22 ~ 24	9		10
合 計	1,089	14	1,207

ウ 道路形状別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
交 差 点	446		493
交差点付近	125		140
トンネル	1		3
橋	9	1	10
カーブ	30	3	29
直 線	374	8	421
踏 切	2	1	1
一般交通の場所	102	1	110
合 計	1,089	14	1,207

※交差点及び交差点付近での発生 52.4%

エ 原因別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
安全不確認	346	2	370
前方不注意	246	3	276
動 静 不 注 視	117		137
ハンドル等操作不適	102		111
交差点安全進行	57		62
一時不停止	61		72
信号無視	46		57
歩行者妨害等	33	1	33
優先通行妨害等	24		32
横断自転車妨害等	12		12
その他の違反	31	3	32
調査不能	14	5	13
合 計	1,089	14	1,207

※脇見等（前方不注意、動静不注視、安全不確認）による事故 65.1%

9 歩行者の交通事故

(1) 発生状況

区 分	令和5年	令和4年	増減数
発 生 (件)	278	256	22
死 者 (人)	12	14	-2
負 傷 者 (人)	273	246	27

※ 歩行者の交通事故件数は、歩行者が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 原因別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
信 号 無 視	5		5
左 側 通 行	3		3
車 道 通 行	3		3
横断歩道外横断	12		12
斜 め 横 断	1		1
駐 停 車 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	1		1
走 行 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	4	1	3
横断禁止場所横断	1		1
幼児のひとり歩き	3		3
酩 酊 ・ 徘 徊	6	3	3
路 上 遊 戯			
路 上 作 業	3		3
飛 出 し	16		16
その他の違反	10		10
調 査 不 能	4	2	2
違 反 な し	206	6	207
合 計	278	12	273

(3) 横断開始場所の状況(1・2当のみ)

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
路 地 から	14	1	13
車 の 陰 から	8		8
建 物 から	2		2
物 陰 から			
その他路側か ら・該当なし	254	10	243
合 計	278	11	266

(4) 年代別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
幼 児	6	1	7
小 学 生	28		28
中 学 生	2		2
高 校 生	5		5
高 齢 者	116	8	110
そ の 他	121	3	121
合 計	278	12	273

《その他の死者》

20歳未満 0人
20歳代 0人
30歳代 1人
40歳代 1人
50歳代 1人
60-64歳 0人

10 自転車の交通事故

(1) 発生状況

区 分	令和5年	令和4年	増減数
発 生 (件)	418	413	5
死 者 (人)	2	2	
負 傷 者 (人)	407	399	8

※ 自転車の交通事故件数は、自転車が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 年代別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
幼 児			
小 学 生	26		26
中 学 生	48		48
高 校 生	120		114
高 齢 者	78	1	77
そ の 他	146	1	142
合 計	418	2	407

(3) 原因別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
動 静 不 注 視	93		92
安 全 不 確 認	121		121
交 差 点 安 全 進 行	57		56
一 時 不 停 止	19		20
前 方 不 注 意	21		15
通 行 区 分	8		7
ハ ン ド ル 等 操 作 不 適	5		4
信 号 無 視	6	2	3
徐 行 場 所 違 反	1		1
予 測 不 適	3		3
優 先 通 行 妨 害 等	1		1
そ の 他 の 違 反	6		6
調 査 不 能	4		4
違 反 な し	73		74
合 計	418	2	407

11 二輪車の交通事故

(1) 発生状況

区分	令和5年	令和4年	増減数
発生(件)	257	307	-50
死者(人)	3	5	-2
負傷者(人)	225	274	-49

※ 二輪車の交通事故件数は、二輪車が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 年代別発生状況

区分	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
若者	中学生		
	高校生	9	6
	一般少年	24	17
20～24歳	21	1	17
高齢者	52		50
その他	151	2	135
合計	257	3	225

(3) 道路形状別発生状況

区分	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
交差点	127	1	118
交差点付近	21		15
直線	87		74
カーブ	13	2	9
一般交通の場所	9		9
その他			
合計	257	3	225

(4) 原因別発生状況

区分	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
動静不注視	60		51
安全不確認	31		22
交差点安全進行	39		39
前方不注意	32		21
ハンドル等操作不適	12		12
一時不停止	3		2
通行区分	2		1
右折違反	1		1
安全速度	2		2
信号無視	2		1
優先通行妨害			
徐行場所違反			
予測不適	1		1
最高速度			
追越し違反	1		1
その他の違反	5		3
調査不能	11	2	8
違反なし	55		58
対象外当事者		1	2
合計	257	3	225

12 安全運転管理者事業所の交通事故(業務中及び出・退社中の第1当事者)

(1) 発生状況

区分	令和5年	令和4年	増減数
発生(件)	291	270	21
死者(人)	1	6	-5
負傷者(人)	315	303	12

(2) 運転経過年数別発生状況

区分	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
1年未満	7		7
3年未満	4		5
5年未満	14		15
10年未満	34		38
10年以上	232	1	250
無免許			
合計	291	1	315

(3) 通行目的別発生状況

区分	業務中	出勤中	退社中	合計
発生(件)	152	97	42	291
死者(人)	1			1
負傷者(人)	166	104	45	315

(4) 原因別発生状況

区分	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
前方不注意	89		98
動静不注意	58		64
安全不確認	75		80
ハンドル等操作不適	17		19
交差点安全進行	15		16
一時不停止	8		8
信号無視	5		5
歩行者妨害等	4		4
安全速度	3		3
徐行場所違反			
通行区分	4	1	4
右折違反			
左折違反	1		1
優先通行妨害等	1		1
横断自転車妨害等	2		2
その他の違反	6		6
調査不能	3		4
合計	291	1	315

13 運転免許保有者数・免許証自主返納者数の推移

(1) 運転免許保有者数の推移(人)

区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年比
全保有者数	749,010	744,885	741,485	738,104	735,423	-2,681
若者保有者数	47,249	46,648	46,179	45,755	45,116	-639
高齢保有者数	218,622	222,833	227,190	230,259	234,700	4,441

※ 令和元年からの増減率

- ・ 全保有者数 - 1.8 %
- ・ 若者保有者数 - 4.5 %
- ・ 高齢保有者数 + 7.4 %

(2) 免許証自主返納者数(申請による取消し)の推移(人)

区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	前年比
全年齢返納者数	5,110	4,505	4,366	4,080	3,881	-199
高齢者返納者数	5,008	4,389	4,287	4,002	3,812	-190

※ 令和元年からの増減率

- ・ 全年齢返納者数 - 24.1 %
- ・ 高齢者返納者数 - 23.9 %

14 令和6年度の主な交通安全活動計画

月別	行 事 名
4月	・ 春の全国交通安全運動（6～15日）
5月	・ 自転車マナーアップ強化月間
6月	
7月	・ 飲酒運転根絶強化月間
8月	
9月	・ 秋の全国交通安全運動（21～30日）
10月	
11月	・ 夕暮れ時の早めの点灯・ピカピカ運動（11/1～1/31）
12月	・ 冬の交通安全県民総ぐるみ運動（1～10日）
1月	
2月	
3月	
<p>※ 日を定めて行う運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月10日 県民交通安全の日 ・ 4月10日及び国指定日 交通事故死ゼロを目指す日 	

15 宮崎県交通事故相談所の業務案内

1 宮崎県交通事故相談所

(1) 場 所

宮崎市橘通東二丁目10番1号
県庁1号館 4階

(2) 相談日時

月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
09:00～12:00
13:00～15:30
（受付は15:00まで）

※ 面談による相談を希望される方は、事前に電話でお申し込みください。

(3) 電話相談

相談員による電話相談を受け付けています。
宮崎県交通事故相談所

電話 0985-26-7039
（受付時間は、上記相談日時に同じです。）

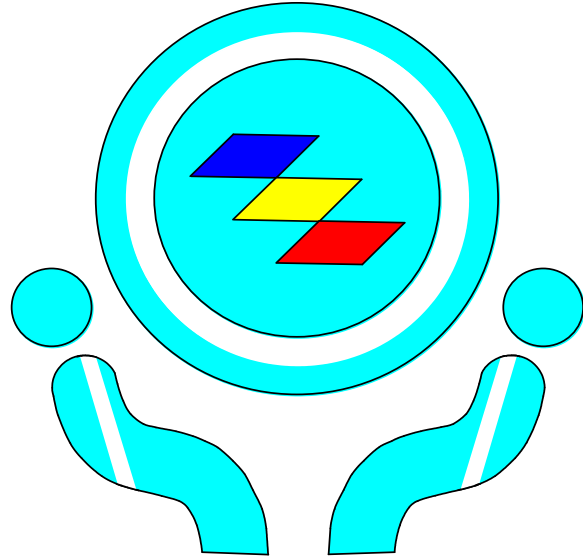
2 市町村等が設置している交通事故相談

※ 令和6年2月現在

- 宮崎市交通事故相談
宮崎市役所本庁舎4階 地域安全課交通事故相談室
月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
09:15～12:00
13:00～16:00
（受付は15:00まで・要予約）
電話 0985-44-2802
- 都城市交通事故相談
都城市役所東館2階
月・火・木・金曜日（祝日、年末年始を除く）
09:00～16:00
電話 0986-23-0944
- 西都市交通事故相談
西都地区交通安全協会
月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
09:00～16:00
電話 0983-43-0294

令和6年度 宮崎県交通安全スローガン

- ◆高齢者交通事故防止を呼びかけるもの
「年の功 経験活かし 事故防止」
- ◆脇見・ぼんやり運転等追放を呼びかけるもの
「一瞬の わき見ぼんやり 事故一生」
- ◆飲酒運転根絶を呼びかけるもの
「飲酒運転 するもさせるも 皆同罪」
- ◆自転車の安全利用を呼びかけるもの
「自転車も 歩行者守って やさしい運転」
- ◆横断歩道における歩行者優先を呼びかけるもの
「横断歩道 歩行者いたら 赤信号」
- ◆夕暮れ時や夜間における反射材の着用を呼びかけるもの
「反射材 あなたの命を 守る盾」



宮 崎 県 交 通 安 全
シ ン ボ ル マ ー ク